

事例2

< 事例概要 >

・70歳代。下肢閉塞性動脈硬化症（膝窩動脈以下閉塞）で経皮的血管形成術を施行。抗血栓薬を2剤服用中。

・血管内治療時に大腿動脈を複数回穿刺。治療後、止血デバイスで止血。帰室後、穿刺した側の腹痛あり。約1時間後、刺入部の出血、腫脹なし。約3時間後、便失禁、嘔気、嘔吐あり。その後、背部痛、顔面蒼白、頻脈あり。血圧が低下し、昇圧剤を投与したが、心停止。心拍再開後にCTで後腹膜血腫を確認し、帰室から約15時間後に死亡。

・解剖有、Ai無